

## 「義務教育学校港島学園校舎一体化整備（案）」に関する市民意見募集結果

1. 意見募集の期間  
令和4年3月1日（火）～3月31日（木）
2. 寄せられた意見  
6通（7件）
3. ご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方  
※ご意見は、同様の趣旨のものをまとめて掲載しています。  
また、趣旨を踏まえて要約していますので、ご了承ください。

No.	意見	神戸市の考え方
1	最近では児童生徒数も激減し、効率を考えた校舎一体化には賛成であるが、ただ単に建て替えを実施するのではなく、保護者や児童生徒のニーズを捉え、児童生徒数の増加や地域の活性化に良い影響を及ぼす内容を検討していただきたい。 保護者としては、安全性はもちろん、給食のあり方や後期課程の制服変更や学力向上、放課後や休日のグラウンド利用など、他校に自慢できるような内容を期待する。 神戸市を代表するような学園を創り上げていただきたい。 【1件】	これまで地域や保護者の方に対して説明を行った際に、いただきましたご意見を参考にしながら、設計を進めております。 引き続き、より良い教育環境となるよう、今後実施設計の中で検討するとともに、運営面についても協議していきたくと考えています。
2	後期課程グラウンドや体育館、プール、給食など、概ね納得できる計画である。 工事期間中の児童生徒の通用門の位置や、校舎から後期課程用グラウンドまでの動線について、通学や移動の負担が過大とならないように配慮いただきたい。 【1件】	児童生徒の安心安全を最優先としながら、通学や移動の負担が過大とならないよう、今後実施設計の中で検討していきます。
3	何故、給食室を無くしてしまうのか、理解できない。 一貫校の利点として、食育や成長期の子どもの身体作りを助けるためにも、給食は自校調理とするべきである。 現在のものを更に良いものにしていただきたい。 【3件】	港島学園の現在の給食設備は老朽化しており、前期・後期の児童生徒全員に給食を提供するためには、全面的な更新が必要になります。 そのため、令和6年度中に予定している中学校給食の全員喫食制への移行に合わせて給食提供方法を変更し、民間事業者の調理施設で調理された給食を配送して、温かいまま提供することを検討しています。 前期・後期の子供たちが毎日同じ献立の給食を食べることで、例えばランチルームで1年生と9年生が一緒に食べるなど、小中一貫教育の特色を活かした食育の推進が可能になるものと考えています。 また他の提供方法と同様に、教育委員会が作成した献立により、栄養バランスのとれた量の調整にも対応できる温かい給食を提供してまいります。
4	大きく人口が減っているわけでもない現時点で、長期にわたり運営する学校を人口が減ることを前提に計画することは矛盾している。 【1件】	現在の校舎が前期課程と後期課程とで分かれていることにより生じている課題（教職員や児童生徒間の連携や交流、情報共有などが十分に図りにくいなど）を解消すること、また、義務教育学校としての教育環境をより高めることを目的とした計画となっています。
5	現在の後期課程グラウンドについて、校舎一体化整備後は、どのようになるのか。 【1件】	現在の後期課程グラウンドについては、ポートアイランドの活性化に繋がるような活用方法を検討していく予定です。